JA京都市広報誌｜Public Relations JA KYOTOCITY

いっぷく

11
2023 No.281

ひととひと ふれあい、つながる

特集

今こそ原点回帰！
協同組合理念について

特集

今こそ原点回帰！
協同組合理念について 2

京のかわら版 4

女性部だより 5

信用共済部からのお知らせ
べじべじキッズ2023開催
レクリエーション農園始動 6

信用共済部からのお知らせ
ひと・まとめプランについて 7

営農経済部からのお知らせ
稲作の土づくりに向けたポイント 8

京ベジFESTA2023
～秋の大感謝祭～について 10

営農経済部からのお知らせ
JAねっとショッピングのお知らせ
10・11月は国消国産月間
実りの秋！「国産」を食べてみませんか？ 11

人事異動・昇格のお知らせ
家の光に当JAの取組が紹介されます！ 12

総務企画部からのお知らせ
インターンシップ実施
献血実施
内定式開催 13

職員つうしん
11月・12月行事予定 14

ちょっといっぷく
クロスワードパズル／今月の星占い 15

京のこんだて
京都光華女子大学とのコラボ企画 第1弾！
ネギ饅頭 裏表紙

表紙写真

「瑞饋神輿巡行」

理念について

JA京都市は1948年に産声を上げ、日本経済の発展とともに、成長を続けてきました。この75年の間に、農業を取り巻く環境は、劇的に変化しました。

田植えや稲刈りは、スマート農業技術によって無人でできる時代になり、「振り売り」は大八車から軽トラックに変わり、そしてインターネットを利用した個別宅配へと変化を遂げております。一方、少子高齢化と人口減少が現実のものとなり、農業者の高齢化や担い手不足、相続による農地減少など我々にも深刻な問題として横たわっています。

このような時代だからこそJAに何ができるのか、協同組合の存在意義は何なのか。

今回の特集は「協同組合理念」についてです。

そもそも協同組合とは？

協同組合とは同じ目的を持って集まった人たちが出資することで組合員となり、組合員同士が助け合う組織を意味しています。そのため、協同組合は「自分たちさえよければいい」という考えではありません。一人では実現できないことを個々が集結し、その目的達成のために、協同組合運動を展開していく組織です。ここには民間企業では発揮できない社会的な役割があります。

また、協同組合と株式会社では、物事を決める方法において、大きな違いがあります。それは、「一人一票制」と「一株一票制」の違いです。

協同組合は、出資額が多いか少ないかによって議決権に差がなく、これに対して、株式会社の場合は、保有している株式の多寡によって議決権が変わり、その大小が、組織運営を大きく左右します。協同組合は、人との結びつきやお互いに力を合わせるための組織なので、株式会社のように特定の力をもった人の意見のみが通る運営は行われません。一人一票制をとることによって、協同組合を組織する組合員の意思は平等に扱われます。

人と人との組織であることを大切にする協同組合と、資本力に左右される株式会社との決定的な違いは、運営方法にあらわれます。

その中において、組合員は「**出資者**」であると同時に「**事業利用者**」であり、「**運営参画者**」である三位一体の性格をもっています。「株主」、「顧客」、「経営者」と必ずしも同一ではない株式会社とは大きく異なります。

つまり、協同組合は〝**してくれる**〟組織ではなく〝**なにをしよう**〟と組合員が主体的に考え運営していく組織です。

JAの役割とは？

JAにはJAの基本的な価値・役割や新たなJA運動の展開方向を示す、組合員・役職員の共通の理念と

特集 今こそ原点回帰！ 協同組合

して、「ＪＡ綱領」があります。「ＪＡ綱領」には、ＪＡが農業と地域社会に根差した組織として、農業はもちろん、食や緑、さらには環境・文化・福祉を通して地域社会とともに歩む存在であることが記されています。

ＪＡ綱領

わたしたちＪＡの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。

一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。

一、ＪＡへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。

一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、ＪＡを健全に経営し信頼を高めよう。

一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

このＪＡ綱領には、目的を達成するための具体的な方法や実践するあり方については記述されておりません。示されている理念を展開・実践していくことが求められており、当ＪＡにおいても２０１９年１月に、「歴史ある地域社会との豊かな共生を～食と農から～」のスローガンのもと我々が目指すＪＡの未来創造に向けた自己改革を策定し、役職員の総力を結集し展開しています。

職員への理念教育

今、ＪＡが置かれている状況は非常に厳しい環境にあります。ＪＡとして本来果たすべき役割や使命を忘れ、組合員の暮らしを良くするための事業が利益優先で展開されているのではないか。冒頭説明しましたＪＡの本来の姿勢を示した協同組合理念、ＪＡ綱領からかけ離れた展開になっているのではないか。残念ながら、こうした本意でない姿を捉えられてＪＡは総じて必要な組織なのかといった社会的な批判を受けています。このような批判は、ＪＡで働く私たちにとって悔しい限りです。

私たち役職員は今一度、協同組合理念、ＪＡ綱領といった自分たちの本来の役割に立ち返り、原点回帰すべき時であると考えています。

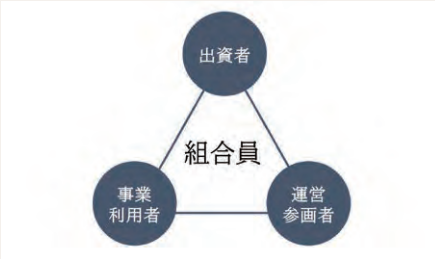
全職員の意識を醸成するために、５月の進発式では清水専務が事業方針のプレゼンテーションを行い、そこで「組合員の必要に応える姿勢」を説きました。また、全管理職を対象とした管理職研修、そして全職員で共有する協同組合理念研修などで、自分たちの果たすべき使命を再確認しました。

これから理事定数見直しや店舗再編、ブロック制導入など当ＪＡの体制が大きく変わる時期を迎えますが、これからの時代にも活かすべき協同組合理念、ＪＡ綱領を実践し、ＪＡの本来の役割を果たせるよう組合員の皆様とともに歩んでまいります。

▲5 月に開催した進発式。清水専務から JA 職員としてのあるべき姿が伝えられました

▲支店長をはじめ、年 6 回開催する管理職研修

●協同組合における「組合員」とは



→「三位一体」の性格を持つ

京のかわら版

JA京都市管内の出来事や
イベントなどをお知らせいたします。

みのりみのるマルシェ開催
～旬の農産物をPR～

9月9日、みのりみのるマルシェ「京都の実り」がJR大阪駅で開かれ、会場には大勢の方が集まり、地元農産物をPRしました。

今回の取り組みはＪＡ全農とＪＲ西日本の地域振興支援に関する連携協定の一環で、当JAからは、勧修寺観光農園の「ＢＫシードレス」と「シャインマスカット」、規格外の賀茂なすを有効活用した「たまり賀茂なす」を販売しました。

当JA以外からも京たんごなしやイチジク、万願寺甘とう、京おくらなど、京都を代表する旬のフルーツや京野菜が売り場に並び、終了を待たずして完売となりました。

▲JR大阪駅でシャインマスカットとBKシードレスを販売しました

観光で大阪を訪れた30代の主婦は「シャインマスカットは皮ごと食べられるので、お土産として家族に振る舞おうと思います」と笑顔で話してくれました。

勧修寺観光農園については
「Link」でも紹介しています
詳しくはこちらから⇒

地域の「農」の歴史と結びつく「瑞饋（ずいき）祭」
～次世代に繋ぐ佐伯さん特別授業～

10月3日、西之京瑞饋神輿保存会顧問で朱雀野支部支部長の佐伯昌和さんは地域の子供たちに瑞饋祭の歴史や瑞饋神輿を伝えるための特別授業を北野天満宮御旅所（おたびしょ）で開きました。

瑞饋祭は、10月1日から4日に五穀豊穣を感謝するために北野天満宮で開催される秋の祭礼です。瑞饋などの農産物は佐伯さんをはじめ地域の生産者によって作られます。神輿は地域住民たちが約1か月かけて作り、「ポケットモンスター」や阪神タイガーススローガン「ARE達成」「浦島太郎」など8つが神輿に飾られました。

子供たちの「神輿に飾られている野菜は何ですか」「神輿の中には何がはいっているのですか」といった素朴な質問に対して、佐伯さんは丁寧に回答していました。

神輿は4日に北野天満宮御旅所を出発し、「ほいっと、ほいっと」の掛け声とともに上七軒などを巡行しました。

▲瑞饋を見せながら、瑞饋祭の歴史などを説明した佐伯さん

地域の特産品を後世に伝える
～九条支部の食育授業開催～

九条支部は京都市立凌風小中学校の小学3年生に食育授業を行っており、地域の特産品である九条ねぎの良さ・歴史・生育の様子・生産者の思いを伝えています。

9月1日に行われた授業には同支部の今井一博支部長と藤原良治副支部長が出席し、児童からの質問に、一つ一つ丁寧に回答していました。

今回の取り組みは「九条ねぎの魅力　伝え隊！」というテーマで令和6年2月まで行われる予定で、今井支部長は「世界的にも有名な京野菜である九条ねぎに興味をもって学習してもらうことで、世代を通じてその歴史と文化、知識が引き継がれていくことは大変うれしく思う。本場の九条ねぎの魅力を発信していきたい」と話しました。

◀地元の特産品である九条ねぎについて説明する今井支部長（中央）

女性部だより

心も身体もリフレッシュ！

8月31日、嵯峨支部女性部はフレッシュミズと合同でフラメンコ教室を嵯峨野支店で開きました。

講師には以前からフラメンコの指導を行ってきた奥田今日子先生を招き、フラメンコの基礎となる動作などについて指導していただきました。部員たちはストレッチから始め、心地良い音楽のもと身体を動かし、最後はリズムよく踊れるようになりました。部員は「いい汗もかいて、心も身体もリフレッシュすることができました」と満足げな表情でした。

永井明子部長は「とても楽しいサークル活動となりました。女性部だけでなくフレッシュミズと一緒に様々な活動を行っていきたい」と話していました。

部員たちは奥田先生の指導で
メキメキと上達！

インテリアとして注目！
～プリザーブドフラワー教室～

8月28日、上賀茂支部女性部はプリザーブドフラワー教室を上賀茂支店で開きました。プリザーブドフラワーとは、生花の一番美しい時期に色素を抜き取り、特殊な加工を施した花のことであり、生花のような状態を保ち、水やりが不要なため、インテリアとして人気を集めています。

教室には部員14名が参加し、プリザーブドフラワーを好きなデザインで瓶の中に飾り付けアレンジしました。作業終了後にはみんなで完成品を鑑賞しました。

市川千恵子部長は「綺麗に見えるようにバランスよく配置するのが難しかった」と話しました。

部員たちは
プリザーブドフラワーを
瓶に飾りつけました

地域の特産品を使ったレシピを試作
～「たけのこご飯」は西京農業まつりで販売予定～

9月22日、大枝支部女性部は大枝支店で料理教室を開き、大枝地域の特産品であるたけのこの水煮を生かした「たけのこご飯」と家の光に掲載の「米粉のパンケーキ」を作るため、部員9名が参加しました。

「たけのこご飯」は12月2日に開催する西京農業まつりで販売を予定しており、部員たちは慣れた手つきで試作品づくりに励んでいました。

森本静子女性部長は「コロナ時期もあり、料理教室は久しぶりの開催で、部員たちと交流でき、とても楽しいひとときとなった」と語っていました。

西京農業まつりに
向けて試作品づくりに
励んだ部員たち

健康寿命を延ばすための生活教室

9月14日、深草支部女性部は京都リハビリテーション病院の協力を得て、健康寿命を伸ばすための運動をテーマに生活教室を開きました。

教室には部員9名が参加し、同院の理学療法士である川上健司氏が講師となって、体を動かす取組み以外にも、地域コミュニティへの積極的な参加を通じて生活機能を向上させる事の重要性を学びました。

杉井則子部長は、「病院の協力を得て、専門的な話を聞ける機会となりました。部員同士の繋がりを通じて、心も身体も健康を目指しましょう」と部員たちへ語りかけていました。

専門家のレクチャーを
受ける女性部員

信用共済部からのお知らせ

べじべじキッズ2023開催！

～勧修寺観光農園でさつまいも掘り!!　圃場は満開の笑顔がいっぱい～

9月20日から10月1日にかけて、「べじべじキッズ2023」を勧修寺観光農園で行いました。この取組みは次世代層へのアプローチの一環として、農業学習の機会を提供するもので、児童手当受給口座やこども共済の新規契約者を対象に、同農園での「芋掘り体験」に200名を招待しました。

さつまいもが掘れた瞬間には子供たちも自然と笑顔になり、「収穫できた大きなさつまいもを食べるのが今から楽しみ!」と話していました。期間中は、夏野菜すくいのミニイベントにも取り組みました。

30代主婦からは「子どもに農業を体験させられる貴重な機会でした。今後もぜひ参加したい」と好評でした。

レクリエーション農園始動！

～12月には収穫祭を開催予定～

9月16日から、年金受給者向けに「レクリエーション農園」を開園しています。この企画は、播種・定植から収穫までの農業体験プログラムを提供するもので、参加者たちが収穫の喜びを分かち合い、都市農業への理解に繋げることを目的としています。

16日と17日には初回オリエンテーションが開かれ、企画の概要説明と営農アドバイザーの実演後、割り当てられた区画で丁寧に定植作業が行われました。参加者の多くは野菜を作るのがはじめてで「以前から農業に関心はあったが、貸農園は敷居が高く感じていたためありがたい。今から野菜の成長が楽しみ」と話していました。

収穫時期となる12月には収穫祭を行う予定で、当JAの自己改革に掲げる「地域住民とともに豊かな環境づくり」の実現に向け、今後も体験を通じたJAファンの創出を実施します。

信用共済部からのお知らせ

ライフイベントや世代ごとに変化する人生のリスク

必要なお金の変化

就職 | 結婚・出産 | 子育て | 住宅購入 | 子どもの独立

20代〜30代 | 40代 | 50代〜

世代別リスク

重い病気で働けなくなったら・・・

万一のとき家族の生活費は・・・

認知症や介護は他人事ではない・・・

JAのひと・まとめプランなら

病気・ケガ・がん | 重い生活習慣病・三大疾病

様々な保障を組み合わせて、あなたのライフプランにぴったりの備えを実現します。

身体障害状態・介護状態・認知症 | 死亡

共済金のお支払いには所定の条件があります。

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。※この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

はじめて共済

https://shiryo.ja-kyosai.or.jp

■JA共済ホームページ https://www.ja-kyosai.or.jp

本サイトから「ひと・いえ・くるま」の各共済の資料請求・掛金試算ができます。

JA共済相談受付センター(JA共済連 全国本部)

0120-536-093

受付時間: 9:00〜18:00(月〜金) 9:00〜17:00(土)

※日曜日、祝日および12月29日〜1月3日を除きます。
※メンテナンス等により予告なく変更する場合があります。
※電話番号は、おかけ間違いのないようご注意ください。

げんきなカラダプロジェクト | あんしんくらしプロジェクト

げんきなカラダプロジェクト・あんしんくらしプロジェクト

みんなで一緒に健康をつくる「げんきなカラダプロジェクト」。
いえ、くるま、農業といった大切なものを支える「あんしんくらしプロジェクト」。
この2つのプロジェクトで、みなさまの豊かな生活づくりをサポートしていきます。

専用ホームページでは、健康増進や防災・減災等のサービスのご紹介、各種イベントのご案内、お役立ち情報などを掲載しています。ぜひご覧ください!

https://service.ja-kyosai.or.jp

くらしの保障、相談するなら JA共済

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

23481050107

「土づくり」と「深耕」で「気象変動に備えた稲づくり」を行いましょう!!

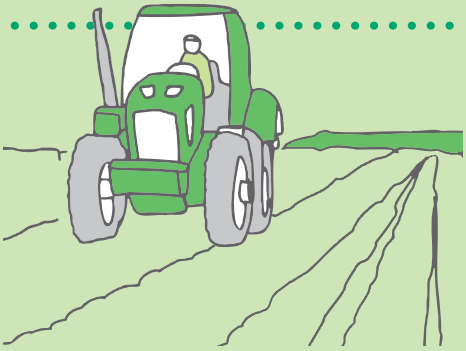
営農支援課　TAC
堀井　崇史

水田の土づくりのポイント

土づくりの効果は、土が本来もつ養分供給力を高めるだけでなく、水稲の根の活力を高めて養分の吸収力を向上させたり、また急激な環境変化に対する抵抗力を持たせたりすることです。今回は土づくりを行う中でのポイントとオススメの資材をご紹介します。

ポイントその1 15cm以上の深耕を心がけましょう!

作土が浅いと肥料の効果が持続しないで、根の活力が早く弱まります。そのため、枯れ上がりや倒伏が多くなって収量・品質とも悪くなります。トラクターの速度とロータリーの回転数を遅くして、深耕を心がけましょう。



ポイントその2 稲わらを田んぼにかえしましょう!

コンバインで収穫と同時に裁断され水田に残された稲わらは、土の中で分解しにくいため、腐熟が不十分だと稲の生育にも悪影響を及ぼすことがあります。
できるだけ年内に、遅くとも田植えの2ケ月前までに**腐熟促進剤**（**石灰チッソ・わらゴールド・アグリ革命等**）と一緒にすき込みましょう。

ポイントその3 土壌改良資材（土づくり肥料）を投入しましょう!

ケイ酸、石灰、苦土（マグネシウム）、鉄、マンガンなどの養分を補給するため、土壌改良資材を投入しましょう。**土壌改良剤**を施用することにより、**葉や茎を硬くして、害虫や倒伏に強くなります**。また、根の活力を高めるので病気にも強くなり、秋落ち傾向が出にくくなります。

土壌改良資材の使用量について

普通田には「**とれ太郎**」10aあたり4～5袋、又は、「**オイスターミネラル**」10aあたり5袋、秋落田（夏過ぎごろから生育が悪くなり収量が低くなる田んぼ）には、「**ミネGスーパー**」を10a当たり6～8袋を**稲わら**すき込み前に全面散布しましょう。

稲わら腐熟促進剤

粒状石灰窒素

20kg入り
収穫後の稲わら
500kgあたり1～2袋／10a

わらゴールド

15kg入り
10aあたり2～3袋
●微生物の働きで、稲わらの腐熟を促進。

稲わら分解促進材 アグリ革命

2kg入り
10aあたり1袋(2kg)
●動力散布機でも撒けます。
●酵素で稲わらを分解。

土づくり肥料

とれ太郎

20kg入り
10aあたり4～5袋
●倒伏軽減
●品質向上・安定多収

保証成分(%)			
溶性りん酸	溶性苦土	可溶性けい酸	アルカリ分
6.0	12.0	30.0	45.0

含有成分(%)
鉄
3.0

粒状ミネGスーパー

15kg入り
10aあたり
一般圃場：6～8袋
地力低下・稲わらが多い圃場：8～10袋
「アグリ革命」と併用する場合：4～6袋

含有成分(%)					
アルカリ分	溶性石灰	溶性苦土	可溶性けい酸	酸化鉄	溶性マンガン
48～52	30～35	10～12	13～16	16～20	1.0～2.0

含有成分			
溶性りん酸	溶性ほう素	亜鉛・銅・モリブデン	有機物(含腐食酸)
1.5～3.0	400ppm～800ppm	微量	4～6

セルカ オイスターミネラル

20kg入り
10aあたり5袋
●ケイ酸+カキ殻のダブル効果!
●稲の体力づくりにオススメ!

保証成分(%)	
可溶性けい酸	アルカリ分
17	45

含有成分
苦土：3%、カルシウム、鉄、マンガン、ホウ素、亜鉛 他

資材を使用する前に・・・

稲わらの分解が進んでいないと、田植え後、気温の上昇により**ワキ**(分解に伴うガス)の発生が多くなり、初期生育の停滞による茎数不足等が懸念されます。
わらを分解する微生物が活発に働く期間を確保するために、出来るだけ早く腐熟促進材とともにすき込むようにしましょう。

●LINE 公式アカウント「営農タイムリー」でも
旬な営農情報を随時発信中!!
登録はこちらから→

10th Anniversary 京ベジFESTA 2023

秋の大感謝祭

2023.11.18 sat in 梅小路公園 | 10:00 - 16:00

JR京都市が毎年開催する「京ベジFESTA」を今年も開催決定

今回で初開催から10年目の節目となり、野菜の販売ブースはもちろん、品評会で特別賞を受賞した農産物の展示など市内の農業を「見る」「味わう」「感じる」イベントを通して都市農業の魅力を発信してまいります。

「ほんまもん京野菜」が勢揃い！

京ベジマルシェ

ダイコンやハクサイなど、管内生産者が作った「ほんまもん京野菜」が勢揃い！この日の食卓には地元野菜を使った料理を並べよう！

選りすぐりの野菜がズラリ！

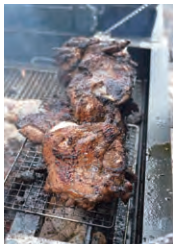
品評会特別賞受賞農産物展示ブース

前日に開催する「秋季農産物品評会」で特別賞を受賞した野菜を当日限定で展示します！生産者が丹精込めた野菜を見られるのは「京ベジFESTA」だけ！

お腹がすいたらグルメブースへGo！

京ベジぐるめ

バラエティー豊かな人気のキッチンカー10台が出展予定。当日は地元野菜を使った限定メニューも販売予定!美味しいお料理、ドリンクでほっと一息!



電車でお越しの方 （JR・地下鉄・近鉄）「京都」駅中央口より西へ徒歩１５分または、JR 嵯峨野線「梅小路京都西」駅下車すぐ

バスをご利用の方 市バス・京阪京都交通バスをご利用ください。

主催 JA 京都市　共催 京都市
後援 JA 京都中央会　JA 全農京都
JA バンク京都信連　JA 共済連京都

営農経済部からのお知らせ

JAねっとショップ はじめます 2023年中スタート!

いつでも どこでも かんたん注文

JAねっとショップとは?〜4つのいいこと〜

その1

肥料や農薬を
いつでも、どこからでも
気軽に注文

その2

過去の購入履歴が、簡単に検索
予約品の一部は、
履歴から前年実績数をコピーし
発注が可能

パソコン スマホから 使えます!

その3

ねっとショップ値引きで
お求めやすく
(一部品目を除く)

その4

肥料や農薬の
詳しい商品情報を提供
メーカーサイトへのリンクあり
(一部品目除く)

詳細は後日あらためてご案内いたします

10・11月は国消国産月間

実りの秋!「国産」を食べてみませんか?

「国産」を食べると、いいこと、いっぱい。あなたは、いくつ思い浮かびますか?

みなさんは、どういった理由で「国産」を選んでいますか。ある調査※では、回答者の約8割が「安全・安心だから」、約3割が「生産者を応援したいから」といった理由で「国産」を選んでいます。「国産」を食べることで、たくさんのいいことがあります。農業を応援し、未来の子どもたちに「食」をつなぐため、「国産」をもっと食べて、もっといいこと、広げていきませんか。

※日本政策金融公庫(令和5年1月)食料品を購入するときに国産品かどうかを「気にかける」理由(複数回答2つまで)

食料自給率 約4割

家族に、いいこと
- おいしくて新鮮で安全・安心な食事を実現
- 未来の子どもたちに「食」をつなぐ

日本に、いいこと
- 食料自給率アップ
- 田んぼのダム機能などで防災
- 和食文化や伝統芸能を継承

「国産」を食べると、いいこと、いっぱい。

世界に、いいこと
- 輸入による CO2 排出が減る
- SDGsに貢献
- 途上国の食料を奪わない

農業に、いいこと
- 日本の生産者を食べて応援
- 地域の活性化に貢献
- 多様な生き物を育む

「国産」を食べて応援キャンペーン実施中

食べて応援 その1

JA直売所に3回来店してスタンプをGet!

47都道府県とっておきの
3,000円相当の農畜産物・加工品が
合計14,100名様に当たります!

期 間 2023年10月1日〜11月30日

https://www.asahi.com/ads/nogizaka46ja/kokusyokokusancp23/
※9月19日からご覧いただけます。

食べて応援 その2

おいしい秋を、お得に。

今がチャンス! お客様の送料負担なし
送料をJAグループが負担します!

JA全農の産地直送通販サイト JAタウン

期 間 2023年10月1日〜11月末日
※規定数に達した場合、早く終了することがあります。
https://www.ja-town.com/shop/e/ekokusho/
※10月1日からご覧いただけます。

JAグループサポーター
林 修

国消国産 こくしょうこくさん

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

人事異動・昇格のお知らせ

（敬称略・順序不同）（　）は前役職

大宮支店次長
（嵯峨野支店次長）
田中 奈緒子

信用共済部共済課長
（信用共済部資金課長）
稲葉 裕美

修学院支店次長
（大宮支店次長）
松田 理恵子

信用共済部資金運用課長
（信用共済部資金運用係長）
田中 翔太

嵯峨野支店次長
（伏見支店係長）
春日 香織

本店次長
（本店係長）
大藪 晋平

川岡支店次長
（川岡支店係長）
白根 由梨絵

久我支店係長
（上賀茂支店係長）
細見 太一

山科南部支店係長
（大宮支店係長）
粟津 久美子

信用共済部資金課係長
（信用共済部共済課係長）
新谷 有美

川岡支店主任
（大枝支店主任）
玉置 祐望

上賀茂支店主任
（川岡支店主任）
土橋 まみ

総務企画部（嵯峨野支店駐在）嘱託
（総務企画部[嵯峨野支店駐在]係長）
川合 まみ

2023年10月に発令した人事異動をお知らせいたします。
今後とも一層のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。
（総務企画部総合企画課）

「家の光」に当JAの取組が掲載されます！

2020年から取り組んでいる京都市動物園への規格外野菜の寄付活動が「家の光」で特集されることになります。

9月27日から28日の2日間にわたって家の光協会の編集者から取材を受け、太秦支部の芦田貞克さんと嵯峨支部の上田忠一さん、京都市動物園からも副園長の和田晴太郎さんに協力いただきました。

詳細は2023年12月に発行となる「2024年家の光1月号」の地域情報版特集に4ページにわたって掲載されますので、是非ご覧ください。

「家の光」の購読を申し込まれる方は、最寄りの店舗までお問い合わせください

総務企画部からのお知らせ

インターンシップ実施
～包括連携協定を締結する京都先端科学大学から学生を受入～

9月6日から9月27日までの5日間に、京都先端科学大学バイオ環境学部食農学科の学生1名を受け入れました。

インターンシップは同大学と2018年に締結した包括連携協定の取組事項の一つで、研修を通じてJAが地域で果たすべき役割を伝え、理解ある学生の採用に繋げています。

研修では座学や現場実習を織り交ぜながら、協同組合の理念やJA事業の理解、そしてJAが地域で果たすべき役割を伝えました。現場実習では嵯峨野支店と醍醐支店に足を運び、実際に働く職員と触れ合い、そして組合員と交流する機会を作りました。

インターンシップ生は「職員と組合員との距離感に驚きました。実習では学べない人と人とのコミュニケーションの大切さを実感しました」と振り返りました。

▲座学では管内組合員や都市農業について理解を深めました

▲組合員と交流を図ることで、JAが地域で果たすべき役割を学びました

▲「あつまれ!! 醍醐ええもんマルシェ」に参加し、農産物の販売を体験

内定式を開催しました!
～2024年卒の学生11名が内定証書を受け取る～

10月2日、本店で内定式を開催しました。2024年3月卒業予定の大学生11名が参加し、学生たちは緊張の面持ちの中、戸田秀司代表理事組合長から内定証書を受け取り、入組に向けて気持ちを新たにしていました。

戸田組合長は内定者に向けて「日本の農業を支えるのがJAの使命であり、皆さんもその使命を果たす職員になってほしい」と語り掛けていました。

今後は3月から新人職員研修会を開催し、新社会人としての心構えやJA職員としての使命などを学ぶ予定です。

▲期待と緊張の面持ちで内定証書を受け取った内定者

献血で社会貢献

9月8日、献血協力が少ないことを受けて、地域・社会貢献の一環として役職員21人が本店で集団献血に協力しました。

献血に参加した職員は「職場まで献血車両が来てくれて助かる。協力できてよかった」と話し、総務企画部の今井康光部長は「自発的に社会貢献に協力する職員を誇りに感じる。組織としても社会・地域に貢献できるよう活動していく」と話しました。

▲役職員21名が献血に協力しました

京都府農林漁業団体役職員球技大会
～野球、バレーボール、グラウンド・ゴルフに参加～

9月18日、2023年度京都府農林漁業団体役職員球技大会が丹波自然公園で開催され、当JAからは野球、バレーボール、グラウンド・ゴルフの3種目に役職員44名が参加しました。

V奪還を狙う野球部は準決勝でJA京都やましろを6対2で下し、決勝はJA全農京都との対戦となりました。終始ビハインドの苦しい展開の中、最終回に打線が繋がり一挙8得点を奪い逆転勝利を収め、2017年以来の優勝となりました。最優秀選手には、勝利を決める逆転タイムリーを放った西田駿吾書記（総務企画部）が選ばれました。

バレーボールでは、JA京都にのくに、JA京都信連の3チームによるリーグ戦が行われ、初戦のJA京都信連相手に見事ストレート勝ち。第2戦のJA京都にのくに相手には惜しくも敗れ1勝1敗で2位となりました。優秀選手賞には高橋璃佐書記（松尾支店）が選ばれました。

グラウンド・ゴルフには、4チームが参加しました。8ホールのコースを3種類回り、その打数を競いました。団体戦では入賞することはできませんでしたが、川勝昭紹部長（営農経済部）が準優勝、5名がホールインワン賞に輝くなど、個人部門で優秀な成績が目立ちました。

▲V奪還を果たした野球部

▲個人部門で優秀な成績が目立ったグラウンド・ゴルフ

▲新戦力の台頭もあり、未来を感じさせたバレーボール

11・12月の行事予定

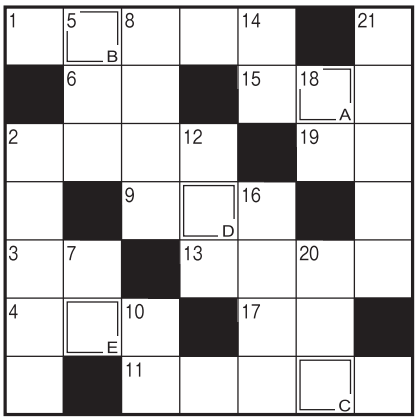
11月	
6日(月)	深草支部農産物品評会【藤森神社】
11日(土)	フレミズ&女性部企画　柿狩り収穫体験【千弥農園】
14日(火)	資産管理移動相談会【修学院】
17日(金)	秋季農産物品評会【平安神宮】
18日(土)	京ベジFESTA2023～秋の大感謝祭～【梅小路公園】
19日(日)	全国都市農業フェスティバル【都立光が丘公園他】
20日(月)	青年の主張　京都府大会【京都JAビル】
24日(金)	法律個人相談会【本店】
25日(土)～26日(日)	農林水産フェスティバル【パルスプラザ】
30日(木)	大宮支部農産物品評会【大宮小学校】
12月	
1日(金)	左京区農林産物共進会【下鴨神社】
2日(土)	嵯峨野4支部合同農産物品評会【嵯峨野】
2日(土)	西京農業まつり【松尾大社】
2日(土)	山科南部支部農産物品評会【山科区総合庁舎】
8日(金)	山科北部支部農産物品評会【山科北部支店】
14日(木)	資産管理移動相談会【吉祥院】
15日(金)	JA京都府女性部・家の光活動体験発表大会【京都JAビル】
21日(木)	資産管理移動相談会【大枝】

※現時点での予定ですので、変更となる場合があります。

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題○ニコリ



タテのカギ

② 日光の紅葉の名所。48個のカーブがあります
⑤ ――大敵、運転中は気を引き締めて
⑦ 白――に身を包んだ花嫁さん
⑧ ジョギングや水泳、筋トレなどはこの一種
⑩ ハウスを使わず作物を育てる――栽培
⑫ 考えるときにひねるもの
⑭ 応用に移る前にしっかりと
⑯ 1カ月の後ろ3分の1
⑱ ペンのはキャップと呼ぶこともあります
⑳ 東京都中央区の地名。
豊洲へ移転した東京都中央卸売市場があった場所
㉑ 2人でおそろいの服を着ます

ヨコのカギ

① 甘柿の王様と呼ばれることもあります
② 屋内のこと。――派
③ ボンレス――、――サンド
④ 漢字では石榴、柘榴などと書く果物
⑥ たき火に手をかざして取ります
⑨ 飲んで食べて話して楽しみます
⑪ 山野で生まれ育ったヤマノイモ
⑬ 奇術師が披露するもの
⑮ ベンチよりふかふかしています
⑰ 富士山の山頂を白くします
⑲ 漬物やワインを詰めます

【解き方】
普通のクロスワードの要領で全部を解いてください。次にA→Eの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。
それが答えです。

『いっぷく』9月号の答え
［アキナス］

正解者の中から抽選で10名の方に図書カードをプレゼント!

プレゼントの応募方法

（1） 郵便はがきまたはメールに、【○クイズの答え○住所○氏名○年齢○電話番号○ご意見・ご感想】をお書きください。

（2） 〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24
JA京都市　総務企画部地域振興課「いっぷく」係まで、お送りください。
メールアドレス:tiiki@ja-kyotocity.or.jp
※応募いただきました皆さまの個人情報は、当選者のプレゼント発送のために利用させていただきます。

おたより募集中！

おたよりや、イラスト（絵手紙）を募集中です。
クイズと同じあて先まで、お送りください。
お待ちしています。

締め切りは
11月末日

解答は「いっぷく」1月号

今月の星占い ★モナ・カサンドラ★

牡羊座 3/21～4/19
秋の実りを楽しみましょう。思い出の料理を食べに行くのもお勧め。旧友との会話にも花が咲きそうです

牡牛座 4/20～5/20
対人運が活発化。もめることもありそうですが、向き合ってみると分かり合えることも。ポジティブに考えて

双子座 5/21～6/21
ストレスを感じやすいとき。オーバーワークにならないよう予定を見直して。レジャー運は良好。お出かけを

蟹座 6/22～7/22
気になっていたことがいい方向へと動く好調運。問題は1人で抱え込まず相談を。力になってくれる人がいます

獅子座 7/23～8/22
大丈夫と思っていたことにストップがかかりそう。いち早く兆候を見つけられるようよく観察を。方向転換は吉

乙女座 8/23～9/22
コミュニケーション運が活発化。好情報を入手できます。ただ、後半は眉唾な話も。うわさには気を付けて

天秤座 9/23～10/23
人気運が良好。あなたの周りに自然と人が集まってきます。食事の時間に愚痴は控えて。楽しく食べて円満に

蠍座 10/24～11/22
リーダーシップを発揮して。少しせっかちになりがちなとき。周りの話を聞き歩調を合わせればスムーズに進みます

射手座 11/23～12/21
よく分からないことで意見を言うのは控えて。いつの間にか悪者にされる恐れが。運勢は下旬から上昇します

山羊座 12/22～1/19
友人や知人とおしゃべりを楽しめます。好奇心を発揮すれば面白いことに出合えるはず。お試しプランにツキ

水瓶座 1/20～2/18
周囲からの注目度がアップ。良いことも悪いことも目立つので自分を律して。人に配慮すると状況は好転へ

魚座 2/19～3/20
努力の結果が出てやりがいを感じられそう。1人では難しいことも仲間と協力して大成功。宴席や旅行も幸運の兆し

京のこんだて

京都光華女子大学とのコラボ企画 第1弾！

ネギ饅頭

京都光華女子大学と相互連携協定を締結!!
管理栄養士を目指す学生がオススメする京野菜レシピ

●材料（20 個）

九条ねぎ	100g
豚バラ薄切り肉（ひき肉でも可）	50g
中華だしペースト	小さじ 1（少量の湯で溶く）
ごま油	小さじ 2
しょうが	1かけ
塩こしょう	少々
餃子の皮（大判が包みやすい）	20 枚程度

●作り方

①九条ねぎは斜め切り
②豚バラ薄切り肉は細かく刻み、しょうがはすりおろす
③材料をすべて混ぜてタネを作る
④餃子の皮でタネを包み、ごま油で加熱したフライパンで両面を焼く

レシピ考案者

（健康栄養学科管理栄養士専攻有志）

SNS で JA 京都市とつながろう!!

二次元コードを読み取ってお友達になっておくれやす♪

LINE 公式アカウント
ID 名：
@ja_kyotoshi

instagram
アカウント名：
ja_kyotoshi

facebook
アカウント名：
JA 京都市

YouTube
「京香ちゃんネル」

JA 京都市 X

いっぷく
Vol.281 | 2023年11月1日発行

編集・発行／JA京都市（京都市農業協同組合）総務企画部地域振興課
〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24　TEL（075）314-0898
https://ja-kyotocity.or.jp

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C022337